

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

【事業所概要（事業所記六）】			
事業所番号	4490100270		
法人名	医療法人 善昭会		
事業所名	グループホーム菜の花関2		
所在地	大分県大分市大字佐賀関335番地		
自己評価作成日	令和3年10月7日	評価結果市町村受理日	令和4年1月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号
訪問調査日	令和3年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念に、その人らしく・自然と共に・地域と共にを掲げています。ご入居者の方が在宅で生活を送っていたならば、きっと、地域や馴染みの深い方・店舗など関わりを持たれていたであろう方々と関わりを持って、継続した生活が送れるように支援しています。又当施設は、大変自然に恵まれ、四季折々の季節感を感じて頂く事が出来ます。春のそよ風・施設内の満開の桜の木、夏のホタル観賞・窓越しに見える花火・秋、紅葉した山の樹木や果物・踏みしめるとカサカサ音がする落ち葉、冬の木枯らし・積雪、また川向かいに地区の方がカンナや紫陽花、夏みかんの木など植えて下さっており、年々見事な花となっています。立地に恵まれた当施設で、勤務年数や経験豊富でライセンスを習得している職員さんにご入居者様が一つの家族となり安心してゆっくりとした生活を送って頂きたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・職員が皆、介護福祉士資格を持っている。
- ・法人の研修体制が整っており意欲的に取り組んでいる。
- ・利用者一人ひとりに寄り添った支援が出来ている。
- ・利用者、職員共に笑顔が見られ和やかである。
- ・地域との関係が密で馴染みの付き合いが多い。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自然と共に地域と共に重度化しても、尊厳や権利を損なうことなくその方らしく過ごして頂くことを目指した理念を、職員室や施設内に掲示しています。ケアプラン作成時には、必ずその方であれば、何を望むのかを考え作成し実践に繋げている	人間・自然・地域統合の理念の元、その人らしい生活を専門職として見守り、理念を共有しケアにつなげている。 リビング等三か所に掲示された理念を各々意識し支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の廃品回収日には、段ボールを提供しています。コロナ禍前は積み込みのお手伝いを皆で行い、情報共有をしていました。又老人会のバザーに参加、手芸品を出品し交流を図っていました。今後も継続したいと思います。	地域の行事はコロナ禍で自粛されているが廃品回収を社員が対応し段ボール等を提供するなど以前からの関係継続をはかっている。正月には顔なじみの地域の方が門松を作ってくれたり、花を持って来てくれたり、外の畑に大根を植えて利用者は散歩の時見ることが出来楽しみにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域会合時に、職員が出向き介護保険サービス内容や認知症早期発見、認知症防止指タッピング体操などについて講演を行い、地域の方々には、DVDに収録し配布されている。当施設にも頂きました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、資料配布で活動報告を行いアンケートからの評価となりました。9月には上期報告として、ご了承頂いた方と直接お会いしご報告しています。	今はコロナ禍で文書での開催になり資料配布だったが近況報告を兼ね推進員さんの了解のもと訪問しアンケート内容を工夫して多くの意見を聞くことも出来、一歩前に進めたという。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーに市の職員さんが参加されている。コロナ禍の中で開催が出来ない状態について、電話で評価や助言を頂いています。	日頃から電話等で連絡を取りながら利用者の現状を伝え、質問に対しての助言を頂きながら連携を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会メンバーや担当者が定期的に研修会を行い、身体拘束が利用者にとってどれ程悪影響を及ぼすのかなどについて、定例会などで発表し周知徹底を図っている。	身体拘束委員会があり年4回の研修が行われ、職員一人ひとりが共有の意識づけを持ち利用者の支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	担当者が研修会を定期的に開催している。日常業務においても、確認しながら取り組んでいる。言葉による、行動制御を行わない介護をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修報告により日常的に学び確認しながら取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居のご案内や重要事項説明を行う際には、時間をかけてわかりやすく丁寧な説明を行い理解、納得して頂けるように対応している、		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何でも話せる関係作りをしている。ご入居者ごとに担当者を設け窓口を1本化することで相談しやすい環境にしています、	玄関に職員手作りの赤いポストが設置され、家族には訪問時等に気軽に意見を手紙式で入れてもらえる様工夫されている。電話でも話せている。時々利用者が昔の知人あてに手紙を入れる事もあり、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務内容や疑問に思うことを、無記名アンケート調査を行い勤務年数や一部の職員の意見に偏る無く見直し風通しのよい環境作りをしている。	勤続年数の長い社員が多く、資格取得に意欲的で外部研修等も積極的に参加出来る。意見を聞いてくれる機会も多く反映されている。パソコン利用で各自勉強出来るランニングシステムで充実している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	家庭と仕事が両立出来るように、公休希望日を取得しやすい環境と働きやすい職場で、チームワークを大切にしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外で開催される研修に参加しやすい環境です。学んだことを実践指導に繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍の為、頻回に実習に行くことはありませんでしたが、近隣施設で学んだ事を共有し、他のグループホームとも電話対応で情報交換している。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当職員を中心に日々の会話で気づいたことや要望している事を記録として残し、職員間で共有し、不安なことがないか気を付けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前より面接と傾聴を何度も行いながら、グループホームで出来る事、出来ない事も説明しながら、ご要望に出来るだけ添える関係づくりに、努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談内容によって、可能な限り柔軟に対応している。また他のサービスも提案するようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に、小さな出来事にも感謝申し上げ、お互いを労いながら日常生活を支えあっています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	出来るだけ、ご家族との時間を楽しんで頂けるように、窓越し面会で交流を図り、月1回の家族宛の封筒に一言メッセージや名前の書き込みを行い、絆を大切にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為、カットなど一部の方とのみ、では有りますが馴染みの関係を継続している。	コロナ禍で玄関でビニールカーテンごしの面会だが、以前からの馴染みの美容師さんが地域の事を発信してくれている。パン・豆腐の移動販売も来てくれ地域の様子をビデオで流す機会もあり『うちの家！』等懐かしそうに見ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	愛称の良い利用者さんでお話やお茶会をする機会を作っています。又居室にお誘いの言葉かけを行うなどで支え合える関係づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	コロナ禍の為、中々お会い出来るきかいは有りませんでした。移動販売車で購入される場合など言葉かけに努めています。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご入居時にセンター方式の用紙を利用し、生活歴から意向をくみ取り、困難な場合には会話や表情から疑似的に意向をとりいれ把握に努めています。	認知症の人の為のケアプランをセンター方式で家族、職員で書き込みをしている。日々の会話の中での気付きノートがあり、本人の言葉を大切に把握に努め共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の生活歴シートを作成し、都度見直しを行い気付きノートにも記載し見逃さないようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	経過記録や気付きノートを利用し職員間の情報共有と把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の個性を大切に、出来ることが継続して行えるように、昔得意だったことや、好きなこと、楽しい事を重視し、ケアカンファレンス以外でも気づきノートを作りケアプランに反映しています。	担当者が日々のかかわりの中で他の職員を含め思いや意見を聞き、実際に出来ているのかモニタリングで毎日チェックしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録の書き方を工夫し主観を入れずにご本人の言葉を用いて、記入し職員間の情報を一元化し共有する事で新しい気づきや評価を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の意向とご本人の希望に配慮しつつ、基本的に希望時には、柔軟に対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為、地域との関わりも少なかったですが、落ち着いた場合には馴染み店での買い物など支援していきたいと思えます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望するかかりつけ医に、情報提供を行っている。通院には職員が付き添い適切な時期に、適切な医療が受けられるように関係機関と密に連携している。	本人や家族が希望する入居前からのかかりつけ医になっている。訪問診療が月2回あり、24時間対応で柔軟に対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接する事業所に看護師やリハビリを行う職員がいるので都度、健康管理や医療面での相談助言の対応ができ、24時間体制の連携も行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、必ず職員またはご家族が付き添い、ご本人の状態報告を行っている、退院後の通院支援も行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時に指針を用いて十分に説明し話し合いを重ねています。ご家族の経過中の気持ちの変化にも対応しています。	入居時、事務所の指針を説明し本人や家族の意向を踏まえ、意思を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアル作成をしています。又、急変時を想定した取り組みも行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練に参加しその時の様子を動画編集し周知徹底している。	地域との防災合同訓練や昼夜の火災訓練もあり、地域のお助け隊の表が作られ、非常時の相互応援の約束がある。各室の入口に非常持ち出し袋が備えられ、防空頭巾も手作りされた物が下げられている。	

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけには、特に尊厳とプライバシーを重視した配慮を行っている。義歯の取り外し(装着時)は居室対応している。	本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアを心がけ義歯の取り外し等日頃から全職員で意識づけ共有し支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症が重度になっても、過去のデータやご家族の情報により、疑似的に支援を行い模索している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの1日の流れはありますが、基本的に、お一人ごとのその日のペースに合わせ支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1回、地区の美容室の方に来ていただきカットして頂いています。化粧品も継続して利用していただいています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器拭きやお盆拭きは、お願いしています。食後のおやつタイムでは、好きなお菓子を沢山食されています。職員も同じ食事をしています。	食事は併設施設の厨房で作られている。食材は地元の物を使い食事を楽しむように職員も同じ物を一緒に和やかに食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理師が献立作成を行っている。個人的な体調管理(排便コントロール)も含めて、新鮮で好みのものを食する事が出来る様に、支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア促しを行い記録している。強く希望しない方には、歯磨きティッシュを利用し促し、異常があれば歯科医院に連絡している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンや表情、表現に気を付けトイレに誘導しています。夜間は、ポータブルトイレを継続利用し爽快感を感じて頂けるように、支援しています。	職員間で排泄時の言葉かけや羞恥心への配慮をしている。排泄パターン表もある。トイレでの排泄を基本で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	豆乳やヨーグルトなどの食品により、自然排便を促しているが、場合によっては服薬調整も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日曜日以外は(急変時考慮して)午前中から入浴希望される場合対応しています。リフト浴も対応しています。	週2回は時間タイミングは本人の希望に合わせている。シャンプーは本人の好みに合わせている。リフト浴2名いる。安心して入れる支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は出来る限り離床を促し生活リズムを整えています。夜間不眠時には、ホールで見守りの中で休んで頂く事もあります。継続する時は、主治医に相談助言を頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に、状態報告書や指示書、処方箋をファイルし送り時や訪問診察前の報告書作成時に確認し、共有と早期発見に繋げている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の生活歴や残存機能を生かした支援を行っています。自信と意欲の継続が出来るように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為、外出ができない状態なので職員が施設から自宅までのルートをDVDに録画し、ホールで映像をながし外出気分を味わって頂いている。	コロナ禍の為、外出が出来ない状況の中、ドライブ感覚を味わえる様施設から自宅までの間、ビデオを流しながら外出気分を味わってもらっている。それぞれが『どこ〇〇や!』『知ってる!』等楽しそうにビデオ鑑賞して和やかに過ごしていた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとして少額を預かり、移動販売車で希望商品を購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月一回送付している菜の花だよりの封筒に名前を記入している方もいらっしゃいます。今は電話対応は、難しくなりました。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆さんが集うホールや、窓越しに見える草花が見える場所にソファを配置しています。廊下には写真を貼り、移動中など楽しんで頂いている。	共有空間には太陽の光が入り、明るく観葉植物や金魚鉢が置かれ、複数のソファが配置され和やかに過ごす場となっている。壁には行事での笑顔の写真が貼られ、職員手作りの赤い鳥居の神社が中央に飾られ手を合わせる姿もあるという。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	特に食事のテーブル席に配慮しています。同じペースの方達や気の合う方同士の工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染み深い物や愛着のある品を自宅から持ち込みしていただいています。また職員とコミュニケーションを取りながら、ジェノグラフィを作成や面会時の写真を居室内に貼り孤立感の緩和に努めています。	居室は入口にわかりやすい目印があり、各々避難袋と防災頭巾が下げられている。利用者が居心地の良い様配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には、残存機能を生かせる手すりや全盲の方でも、数を数えながら歩き自席や自室までの移動距離感がわかるように支援しています。		